

製品名: ACHE マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82940**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,FC
反応性	人間、マウス、サル、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,FC 1:200-1:400
分子量	67.8kDa

抗原情報

遺伝子名	ACHE
別名	YT; ACEE; ARACHE; N-ACHE
遺伝子 ID	43.0
SwissProt ID	P22303
免疫原	大腸菌で発現したヒト ACHE の精製された組み換え断片。

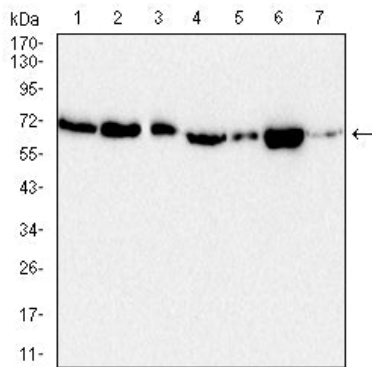
背景

アセチルコリンエステラーゼは、神経筋接合部および脳コリン作動性シナプスにおいて神経伝達物質アセチルコリンを加水分解し、シグナル伝達を終結させます。また、赤血球膜上にも存在し、Yt 血液型抗原を構成しています。アセチルコリンエステラーゼは、類

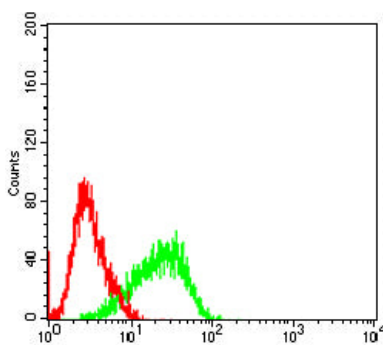
似の触媒特性を有する複数の分子形態で存在しますが、オリゴマーの集合形態や細胞表面への接着様式は異なります。アセチルコリンエステラーゼは単一のACHE遺伝子によってコードされており、遺伝子産物の構造的多様性は、選択的 mRNA スプライシング、および触媒サブユニットと構造サブユニットの翻訳後結合によって生じます。脳、筋肉、その他の組織に存在するアセチルコリンエステラーゼの主な形態は親水性種であり、コラーゲンまたは脂質を含む構造サブユニットとジスルフィド結合したオリゴマーを形成します。もう1つの選択的スプライシング型は、主に赤血球組織で発現し、C末端が異なり、GPI アンカー部位を有する切断可能な疎水性ペプチドを含みます。翻訳後に付加されたホスホイノシチド (PI) 部位を介して膜と結合します。AChE 活性は、生体内で赤血球老化の高感度バイオマーカーとなる可能性があり、輸血の影響を理解する上で役立つ可能性があります。

研究分野

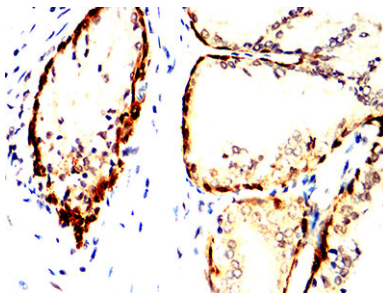
画像データ



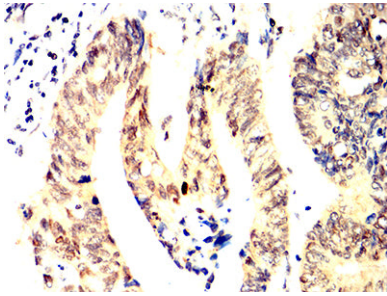
PC-12 (1)、Hela (2)、マウス brai (3)、NIH/3T3 (4)、COS7 (5)、Jurkat (6)、Raji (7)細胞溶解物に対するACHE マウス mAb を用いたウエスタンブロット分析。



ACHE マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した NIH/3T3 細胞のフローサイトメトリー分析。



ACHE マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト前立腺癌組織の免疫組織化学分析。



DAB 染色による ACHE マウス mAb を使用した、パラフィン包埋ヒト直腸癌組織の免疫組織化学分析。